

式辞（三原キャンパス 2013）

卒業生・修了生の皆様、おめでとうございます。ご家族と関係者の皆様方、お祝い申し上げます。

ご来賓の方々におかれましては、ご多忙のなか、本学の式典にわざわざご光臨賜り感謝いたしております。そして、この場をお借りしまして、本学関係者ととともに、いつも変わらぬご支援に厚く御礼申し上げます。ありがとうございます。

< 卒業生・修了生の皆さま、お座りください。 >

卒業生の皆さまは、この三原という地で、本学の保健福祉学部の各学科・専攻科・大学院保健福祉学専攻を学ばれ、ご卒業になられます。これは本当におめでたいことでもあります。非常に幸運なことでもあります。

おめでたいのは、第1に、三原は、景色の美しさはいうまでもありませんが、武勇・知略に秀で、信義も篤い小早川隆景公の城下町で、それゆえ、武芸も文化も高い伝統を作り上げてきた町だからです。この町は人々の憧れの地であったことは、本学から北西約4km京覧カントリークラブの西の小坂町にあったと記録が残る田植え唄からもよく分かります。田植え唄の歌詞は次のとおりです。

行けば尾道、帰れば三原エ -
ここが思案の 糸崎よ
三原みたさに はるばる出たがエー
三原隠しの 霧が舞う
ここは糸崎 八幡様よエー
三原城下が 近うなりた

この山陽の近隣一帯では、尾道も憧れの地なのですね。そこで、三原より西の小坂の人が、わざわざ尾道の名をだしたうえで、三原がみたいといい、三原城下が近くなった、やれ、うれしいなあと唄うのです。

さて、この三原の人の優しさですが、これは、長崎で処刑されたキリシタン26聖人の一人トマス小崎聖人14才の銅像をみれば分かります。この銅像はイオン三原店の西、郵便局のすぐ近くのお堀端にあります。京都の方角を向き筆で手紙を書いています。十字架に架けるために、寒い冬、縄に縛られ徒歩で京都から長崎へ連行される途中、三原城の牢屋で宿泊したときに、三原の牢の役人が身の危険を顧みず、紙をあげ、墨と筆を貸してあげ母への手紙を書かきたいという願いをかなえてあげたのです。見つければ牢番も処刑されるでしょう。その危険を冒すほどの優しさが三原にあるのです。この手紙は現在バチカンにあり、世界のカソリック信者で知る人は多いのですが、その手紙は三原で書かれたというみんな感動なさいます。先日來、新しい法王を選ぶコンクラーベの報道からもカソリックの世界における影響力の大きさは皆様は良くおわかりでしょうが、それゆえに、三原はトマス小崎聖人の手紙を通じて世界的に感激される都市なのです。

三原の文化ですが、その高さを示す物も数多いのですが、時間がありませんので、ここでは浄瑠璃の三大傑作、仮名手本忠臣蔵、義経千本桜、菅原伝授手習鑑の作者は、なんとここ三原の成就寺の僧侶だった並木宗輔さんということだけを指摘しておきましょう。

三原で学んだ皆様を祝福すべき、第2は、皆さまは、研究力の高い大学でレベルの高い高等教育をうけられたことです。大学の研究力を示すよい指標とされるもののひとつに科学研究費補助金の採択件数があります。これは科研と略称されますが、この採択件数を大学間で比較しますと、中四国九州沖縄の全部で25の公立大学のなかで本学は最近5年連続トップなのです。国立大学は、本学と比べて規模が圧倒的に大きく、東大・京大・九大など旧帝国や広大、神戸大などそれに並ぶ大学は、我々の7倍から10数倍の巨大規模で、そのままでは比較は意味を持ちませんから、各大学が年間につかう総費用で割って総経常費用1億円当たりの科研費採択件数を計算してみますと、平成24年度4月の公表のものでは、東大と九大が1.67で本学の1.63あまり差がありません。国立の総合大学は中国地方で5校、四国で4校ありますが、そのなかで1番高いのは広大で1.56で一番低いのは0.75となっています。もちろん、国立総合大学の研究と公立大学の研究には非常に大きな違いがありますから、この数字での比較を重視しすぎるのはどうかと、私自身考えますが、しかし、大学を運営するのに使っているお金で科研採択件数を比較しますと、本学は全国で一流の大学ということになります。

この研究力の高い大学で皆様は教育をうけられたのです。しかも、近年では多くの大学で卒業論文を書かなくても卒業認定していますが、本学では、全学生が卒論を書いて卒業します。卒論では、科学研究の正しい方法にもとづいて、課題を学生がみつけ、文献渉猟し、論証か実証をし、創造的に結論を導き、文章にまとめ、吟味し、公開の場で発表します。したがって、本学の学生は、新しい知をつくり出す科学的方法を身につけて卒業するのです。世の中には論文らしき物を書き、それなりに人気を集めて例は少なくないのですが、そういう素人芸ではなく、科学的方法をきちんと学ばれたのですから、皆さまは、卒論をどのように仕上げたかをしっかり思い出していただければ、ご自分で、正しい方法で、新しい課題をみつけ、それを解決していくことがこれからもできるのです。ですから、自信をもって社会でご活躍いただけます。

このような大学で、上のような教育をうけて、ご卒業になるのです。皆様本当におめでとうございます。また、幼いころから本日の卒業生を大事にお育ていただいたご家族や関係者の皆様、重ねてここで、こころからお祝い申し上げます。

さて、今日ご卒業なさる皆様への饒の言葉として、第一に卒業後もしっかりと勉学に努め、技能の向上に励むこと、第二に、皆さまの住む土地、働く組織、接する人々の良い点を見つける努力をすることの二つです。

第一、勉学こそ力です。百人一首にありますから、皆さまは、伊勢大輔の「いにしへの奈良の都の八重桜けふ九重ににほひぬるかな」という歌はよくご存じでしょう。平安王朝華やかなころ、奈良の興福寺から見事な八重桜が京都の御殿にとどけられます。その桜の取り次ぎ役は毎年中宮彰子のお局の紫式部がつとめていました。しかし、ある年、伊勢大輔が同じ局に出仕してきました。この方は伊勢神宮の神官のお嬢様で、この家は歌詠みの家です。そこで、紫式部は、八重桜の先導役を伊勢大輔に任せたのです。新入社員のいわ

ば大抜擢です。

さて、当日です。八重桜を興福寺が届けてきました。その僧侶を伊勢大輔が先導してきますと、天皇皇后は御簾の内におられるのでしょうか。その前に、藤原道長がおられます。そこまでまいりますと、道長がさあと言います。そうなのです。献上を取り次ぐにあたって歌を詠みなさいということなのです。紫式部は歌が必要ですよとは教えてはくれなかったのです。和歌の家のお嬢様としては、いい歌を詠んでみせなければなりません。大変だわと思ったでしょうが、「いにしへの奈良の」と始めますと、きれいに続けました。

即興の歌ですが、「いにしへの奈良の都」で七、「八重桜」で八、「けふ九重」で九で、七・八・九と登り調子で、平安朝がめでたく栄えていくことを読み込んでもいるのです。居並んでいた公達のやんやの賞賛を集めました。清少納言もいたことでしょうか。見事に宮中にデビューをかざったのです。

とっさのときに、こういう見事な働きができますのは、日頃の勉強、技能の研鑽の成果です。皆さまも桜も見れば、この話を思い出して、実力を蓄えてください。突然その力が試されるときが人生で3回は来るとよく言われます。このときを捕まえないと幸福の神様はとおり過ぎていきます。チャンスは突然きます。どうかしっかり励んでください。日頃の勉強・研鑽こそ力です。

餞の言葉の第二ですが、皆様が、幸せに生きていくには、皆様が、住む土地、働く組織、接する人に暖かく受け入れられることが大事ですが、それには、それらのいい点、すばらしい点を見つけることが重要だと私は考えています。ある土地に住めばそのすばらしい点を地元の人以上に見つけるのです、接する人々について、その人のいい点を見つけることです。そうすれば、土地の人は、接する人は、こちらを受入れ、好きになってくれるでしょう。嫌な点、変だなと思うことがあれば、せめて数ヶ月は、なぜ、彼ら彼女らがそうしているのかを観察してみてください。その土地では、あるいはその組織ではそうするのが合理的であることがわかっていくことが多いものです。皆様方は、いい大学で、優れた先生から最新の理論、最新の技能を学んだのですから、相手のやり方は古いとか、劣っているとか思ってしまうかもしれませんが、そのときは、いきなり批判せず、まず数ヶ月は観察してください。そこでは、そうしたやり方が当面は合理的であることが多いのです。そのことがわかる前にいきなり発言すると反発を買いますが、わかってからですと好い関係で話しあっていけることでしょう。まず、相手を理解し、その良い点を見つけることこれが私の皆様へ贈る言葉の第二です。

社会は皆様の活躍を待っています。ご卒業おめでとうございます。

平成25年3月18日

県立広島大学 学長 赤岡 功